

3年生 進路サクセス・ストーリー

令和8年度 武生高校

進路希望実現へのカギ ①確固とした目標 ②授業最重視 ③家庭学習の充実 ④規則正しい生活 ⑤客観的な自己分析

月	学校行事	テスト関係	進路実現に向けて	生活・学習のポイント	時期
4	○面談週間(9~24) ◆進路希望調査(10) ○遠足(15)	●県模試(記)(11,12) 模試の有効利用 ・学習の目標設定 ・実力の確認 ・結果分析→弱点補強	進路希望調査・担任面談 ＜自分を知る＞ ・志望校(学部学科)の確認 -- その気持ちの強さは? ・現在の学力の分析 -- 到達点との差は?	【最高学年としての自覚】 ・学業,行事,部活動等すべての面で下級生の模範たれ。 【受験生になっているか?】 ・早くスタートした者に志望校への扉が開く。 【学習態勢のセルフチェック】 ・平日5時間、休日10時間の家庭学習。 ・受験本番までの学習計画をイメージできているか? ・授業最重視の上での「受験勉強」ができていないか? ・部活動と学習の両立ができていないか? ・苦手を放置していないか?計画的に学習できているか?	錬成期
5	◆休日課外(9) ○課題研究合同発表会(16) ◆進路講演会(16) ＜保護者対象＞	○中間考査(14~19) △駿台全国模試(希望者)(25)			
6	○春季高校総体(6/4~7) ▲教育実習生と語る会(未定)	●県模試(M)(13,14) ○一斉テスト ○期末考査(6/29~7/2)	初の本格マーク模試 共通テストに向けて正確な自己採点の練習を。	【部活動も全力でそして切り換えを】 ・最後の大会、力を出し切ろう! ・春季総体後、ただちに心と体を切り換える。 部活動にかけていた力の方も学習に注ぐ!	
7	◆小論文講座(希)(7) ○球技大会(10) ○保護者会(15,16) ◆夏季課外(7/21~31) ◆午後特講(7/21~29) ◆休日課外(25) 総合(学校推薦)型選抜校内選考書類提出	●県模試(記)(4,5) ◆小論文模試(希)(15) △大学別模試<夏季>(希)	夏は受験の天王山。 夏を制する者は、 入試を制する!	【天王山の夏休み(学力差が最もつく期間!)] ・1日最低12時間の学習時間を確保せよ。 (この時期の学習が秋以降の成績としてあらわれる) 【夏季課外を有効利用】 ・課外をペースメーカーとして、受験勉強を進めよう。	志望校に対応した個別学習
8	志望校の模試がある場合は積極的に受験する。秋季とセットで受験すれば成績の伸びが把握できる。 ○学校祭(8/28~30)	◆全統模試(M)(3,4) △大学別模試<夏季>(希)		【全統マーク模試】 ・基礎力確認、弱点分野はその都度補強。 【大学別模試<夏季>】 ・駿台、河合、代ゼミ等による大学別模試。 志望大学を想定した問題で実力確認。 【学校祭も全力で】 ・高校最後の学校祭、友情を深め大いに燃えよう!	
9	学校推薦型(共通テストなし)私立指定校推薦校内選考書類提出	○一斉テスト ◆全統模試(記)(5) ●県模試(M)(12,13) ◆小論文模試(希)(28)	進路説明会(共通テスト出願説明会) 共通テスト願書提出	【全統記述模試】 ・夏休みまでにつけた力を確認し、今後の学習に活かすきっかけとする。 【切り替えが大切】 ・学校祭後、スパッと切り替える。 ・共通テスト出願説明会	応用期
10	○遠足(16) 学校推薦型(共通テストあり・前出願)校内選考書類提出	◆全統模試(記)(3) ○中間考査(10~15) ●県模試(記)(17,18)	模擬試験で力を伸ばす	【模試・模試・模試...】 ・9月末から11月にかけて、毎週のように模擬試験 ・模試は「準備」「受験」「復習」のサイクルで力がつく。 ・この時期は記述力重視の学習を心がけよう。	
11	夏季からの成績の伸びを確認。難関大学受験希望者は積極的に受験する 学校推薦型(共通テストあり・後出願)校内選考書類提出	●県模試(M)(10/31,11/1) △大学別模試<秋季>(希) ◆全統プレテスト(M)(21,22)	志望大学の絞り込み、担任面談 現役生はここから伸びる! 現段階の模試判定ではなく、「行きたい大学」を堅持して学習に取り組もう。 この時期は差があっても当然。その差をどのようにして詰めていくかが大切である。	【大学別模試<秋季>】 夏と二次試験の間点。志望大学に向けた学習の進捗状況を把握し、入試に向けた戦略を立てていこう。 【徐々に共通テストも意識して】 授業を中心としつつ模擬試験も活用して問題演習を行っていこう。マーク形式、時間配分にも慣れていこう。問われるのはやはり教科の実力。実力を磨いていこう。	
12	○保護者会(三者)(21,22) ◆冬季課外(24~28)	○期末考査(1~4) ◆駿台プレテスト(M)(5,6)	受験予定校の確認 ・国公立は3段階くらい受験予定校を決めておき、願書を取り寄せておく。 ・私立受験校を決めておく。	【プレ共通テスト】 実力試し。第1志望との差は?それを埋めるには?結果に一喜一憂することなく、できなかった問題・弱点を一つ一つ克服していこう。復習が鍵! 自己採点も正確にできるように!	完成期
1	◆面談期間 ◆個別試験対策特講	特別講座 個別指導で	大学入学共通テスト試験	【出願校決定】 共通テストの得点だけを見て判断するなかれ。よくも悪くも、まずは冷静に結果を受け止めた上で、全国平均・志望動向などをふまえ、面談を通して納得のいく出願を。独りよがり損をする。担任とよく相談を。そして、最後は自分で出願校を決めよう。	
2	◆個別試験対策特講		担任面談 国公立大学出願(1/25~2/3)	【特別講座をフルに活用】 特別講座で力がつく!この時期の学習が合否に直結する。講座に毎日出席して、これまでの学習スタイルを崩さないことが大事。 【個別指導】 担当者から小論文・面接等の指導を受ける。	
3	○卒業式(2) 充実感を持って卒業できるように、この一年、何事にも全力で取り組もう!		合格発表(6~) 中期日程試験(8~) 後期日程試験(12~) 合格発表(20~24)	【後期日程まであきらめずねばり抜け!】 最後までねばり抜け! 「あきらめたらそこで試合終了ですよ。」 苦しいときが伸びているとき。最後までがんばろう!! 【結果報告】 受験の締めくくり。 合格の吉報を、担任の先生に報告しよう!!	

★上記の予定は、一部日程等が変更されることがあります。